

師崎の「モロ」は、人の名か【理事長コラム】

かねがね知多半島突端の町の名、師崎は不思議な名前だと思っていた。医師や看護師の「師」という字を「モロ」と呼ぶのは、どんな秘密が隠されているだろうか。

師崎は別名、羽豆岬ともいうが、羽豆という言葉は、三河の幡豆と同じで副将とか旗頭という軍人の名である。「モロ」の「師」も軍隊という意味があるらしい。

私は記紀などの古代史の中から、建諸隅（タケモロスミ）という人物を探し出し、この人物とこの地方の関係に目を向けた。

羽豆神社も幡豆神社も知多湾を挟んで立っており、祭神は、建稲種命（タケイナダネミコト）である。稲種命の妹には宮津姫がおり、ヤマトタケルの妻になっている。

海部氏系図に、第6代建田世（タケタセ）がおり、その子息に建諸隅（タケモロスミ）がいるが、この諸隅の子供に、倭得玉（ヤマトノエダマ）と宮津姫らしき妹がいるが、この2人の子供を私は稲種命と宮津姫ではないかと考えている。

建諸隅は、実は卑弥呼の遣魏使大使・難升米（ナシメ？）ではないかと推理している。



理事長 田中 誠

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。

施設長交代のお知らせ

さて12月末で統括施設長 早川一洋の退職に伴い、1月1日付で下記のとおり施設長の人事異動を発令しました。

つきましては、高齢者福祉をとりまく環境が大きく変動する昨今、私ども法人役員及び職員一同、地域の高齢者福祉向上に専心する所存でございますので、何卒倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

令和3年1月吉日

社会福祉法人 南知多 理事長 田中 誠

特別養護老人ホーム あい寿の丘	施設長	森本 和範
ケアハウス みなみ苑		
特別養護老人ホーム ひだまり	施設長	服部 直美
南知多町デイサービスセンター		
そよかぜデイサービスセンター		

●2021年の干支は丑年ですね

みなみ苑のご利用者に干支の丑作りをして頂きました。

型紙に沿って綿と布を切って、ボンドで順番に貼り付けます。

「手に張り付いちゃった」「ここに付けばいいの？」と頑張って作っていました。

かわいい丑の干支が出来上がりました。

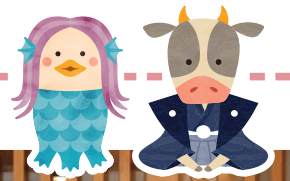


あい寿の丘 ほっかほか

ふれあいホットニュース



2021年1月 お正月号



旧年中は新型コロナウイルスの様々な影響を受ける中で、面会制限等、感染症対策の取り組みにご協力いただきまして、心から感謝申し上げます。面会制限につきましては、未だ解除のめどが立たず、継続とさせていただきます。

静かな新年の幕開けとなっておりますが、ご利用者の皆様に安心して過ごしていただけますよう、感染防止対策に努めてまいります。

本年も変わらぬご愛顧を賜りますようお願いいたします。



クリスマスを楽しみました



あい寿の丘でクリスマス会

職員がサンタの格好をして、ご利用者にケーキとコーヒーを配りに行くと「サンタさんだ」と大喜びでした。

ケーキを食べたご利用者は「美味しいね、いいプレゼントだね」と言われてました。



ひだまりではケーキ作りに挑戦

ひだまりでクリスマス会を行い、今年は各ユニット毎にご利用者とケーキ作りに挑戦。

生クリームを泡立てて、いちごをトッピングし完成！シャンメリーと一緒に食べ「甘くて美味しいね」と大変好評でした。

また職員がサンタの格好してプレゼントを配ると皆さんは笑顔で受取っており、クリスマス会を満喫できました。



南知多町デイサービスの催し物

毎年沢山のボランティアさんが慰問に来て下さって、賑やかなクリスマス会でしたが、今年はコロナ対策にて職員が頑張りました。

ハンドベル・絵本の芝居バージョン・ダンスの3種類を見て頂きました。

皆さん、とても喜んで下さいました。



ご利用者に飾りつけをして頂きました

ささやかではありますが、みなみ苑でクリスマス会を行いました。ご利用者に飾りつけをして頂き当日をお迎えしました。

ご利用者サンタさんも登場し、輪になって音楽に合わせてプレゼント交換をしました。

「何もらった？」「私はこれ？」と情報交換もし、最後は美味しいシュークリームと飲み物で楽しみました。



●南知多町デイサービス・1月の壁面

おめでたい「七福神」を作りました。宝船の七福神が大海原を航海しています。

帆には今年の干支である「丑」をお花紙で作りました。ご利用者は、色紙をちぎったり波を切り取ったりと大活躍でした。

壁面の両サイドには毎年恒例、職員の手作り門松を飾りました。



●窓がピカピカになりました

あい寿の丘では12月も終わりに近づいて来た頃に大掃除を行いました。

ご利用者も「一年使った場所だから綺麗にしてくね」と手伝って下さり、曇っていた窓もピカピカになりました。

終わった後には「これでいい気持ちで新年を迎えられるね」と笑顔でした。



●大掃除をして気持ち良く年越し

みなみ苑でご利用者と一緒に大掃除で窓拭きをしました。ご利用者は自分の水切りを持ってきて掃除してくれました。

「キレイになったな」「キレイになった気がする」と、気分も少しすっきりしましたのでこれで気持ち良く年越しができそうです。



●そよかぜでは干支の壁面が完成

11月から少しずつ作ってきた干支の壁面が完成しました。皆さんが、たくさんのお花紙を一つずつ丁寧に丸めてくれました。

細かい作業ばかりでしたが頑張ってくれたおかげで立派な丑ができました。

一年間皆さんの健康を見守ってくれますと思います。



●そよかぜの大掃除

新年を気持ち良く迎えるために、年末に大掃除を行いました。窓ガラスは男性のご利用者にお手伝いをしてもらいました。

とてもいいに拭いてくださり、ピカピカになりました。

掃除は大変ですが、きれいになると、やっぱり気持ちが良いものですね。

